

## 令和4年度事業報告

### 1 警備業務の適正化に関する指導及び調査研究

#### (1) 警備業務の適正化

警備業務の適正化に向け経営者研修会等の機会を通じ令和4年9月に改訂された「警備業における適正取引推進等に向けた自主行動計画」の周知・実践に努めるとともに、令和4年10月24日、鈴木業務委員長が講師となり、労務単価研究会を開催し、34社34名が参加した。

#### (2) 専門委員会、部会、支部活動の強化

##### ア 各委員会の活動

各委員会を下記のとおり開催し、所掌事項の研究と協会事業の円滑な推進に努めた。

##### (ア) 総務委員会

- ・開催日 令和4年4月25日(金)  
開催場所 当協会研修室  
参加者 谷川委員長以下6名  
議題 令和3年度事業報告及び決算報告など
- ・開催日 令和5年2月28日(火)  
開催場所 当協会第2会議室  
参加者 金子担当副会長、谷川委員長以下8名  
議題 令和5年度事業計画(案)、収支予算(案)など

##### (イ) 広報委員会

開催日 令和4年7月26日(火)  
開催場所 当協会研修室  
参加者 松本担当副会長、上田委員長以下5名  
議題 セキュリティアイチの全紙面カラー化、8月発行予定の58号の校正など

令和4年12月には令和5年1月発行のセキュリティアイチ59号を発行するに当たり、委員長をはじめ各委員による校正などを書面審議した。

##### (ウ) 教育委員会

開催日 令和5年2月3日(金)  
開催場所 当協会研修室  
参加者 田中担当副会長、村木委員長以下9名  
議題 各教育の受講状況や特別講習、警備員指導教育責任者講習受講・合格率状況など踏まえた今後の合格率向上に向

けた施策など

(エ) 労務委員会

開催日 令和4年5月10日(火)

開催場所 当協会研修室

参加者 酒井担当副会長、高山委員長以下9名

議題 労働安全研修会開催について

※ 労働安全研修会、令和4年7月4日(月)、ウイルあいちで開催

催

(オ) 業務委員会

開催日 令和4年9月12日(月)

開催場所 当協会研修室

参加者 上村担当副会長、鈴木委員長以下9名

議題 公共事業労務費調査の実施に伴う「労務単価研修会」開催について

※ 労務単価研修会、令和4年10月24日(火)、当協会研修室で開催

催

(カ) 災害対策等委員会

開催日 令和4年11月8日(火)

開催場所 当協会研修室

参加者 上村担当副会長、加藤委員長以下8名

議題 災害発生時における「災害支援協力隊」の編成の見直し  
同協力隊の装備品、出動時の保存食等の計画的配備など  
について

イ 青年部会の活動

青年部会では、急速に進化を続ける「DX」「AI」などデジタル技術の理解を深め研究するために、

- ・ 山口県協会青年部会研究会(令和4年5月)参加
- ・ 山梨県協会青年部会AI研修(同年8月)参加
- ・ 危機管理産業展(令和4年10月・本年3月、東京都内開催)視察

察

また、SDGs宣言の「IV 安心して暮らせる安全な社会の実現」を目指し、令和4年12月13日には名古屋市内児童養護施設へ災害発生時の備蓄用保存水700本及び現金10万円を寄贈し、河村名古屋市長から感謝状が授与された。

・ 全国青年部会長会議(令和5年3月6日(月))に水谷部会長他が出席

全国青年部会の活動状況などについて意見交換を行った。

ウ 各支部の活動

令和4年4月18日(月)から同月22日(金)の間に各支部にお

いて、研修会及び総会が開催された。また、三河支部は令和4年4月8日、岡崎市との間で「災害時の避難場所等における警備業務に関する協定」を締結した。

この他、令和4年12月、令和5年2月には各支部役員総会、研修会が開催された。

また、支部を管轄する警察署と連携し、交通誘導警備業務に従事する警備員に対して現場における安全パトロールを延べ9回実施した。

### (3) 経営者及び労働安全の研修会開催

#### ア 警備業経営者研修会の開催

開催日 令和4年10月4日(火)

開催場所 東文化小劇場 大ホール

参加者 119社124名

内 容

- ・あいさつ (一社)愛知県警備業協会 副会長 田中 宏
- ・講演1 「警備業の現状と当面の課題」  
(一社)全国警備業協会 専務理事 黒木慶英 氏
- ・講演2 「独占禁止法の概要と入札談合に対する規制」  
「パートナーシップによる価値創造のための転嫁円滑化パッケージにおける公取委の取組」  
公正取引委員会事務総局中部事務所  
経済取引指導官 勝上一貴 氏
- ・講演3 「県内警備業の概況等」  
愛知県警察本部生活安全部生活安全総務課  
課長補佐 後藤守孝氏

※ 警備業界の健全な発展、警備業務の適正化及び企業モラルの高揚を図った。

#### イ 労働安全研修会の開催

開催日 令和4年7月4日(月)

開催場所 ウィルあいち大会議室

参加者 124名

内 容

- ・あいさつ  
(一社)愛知県警備業協会 副会長 酒井法丈  
(一社)愛知県警備業協会 労務委員長 高山幸雄
- ・講演1 「警備業における労働災害防止対策」  
愛知労働局労働基準部安全課  
地方産業安全専門官 村田昌彦 氏
- ・講演2 「パワーハラスメント防止」

フローリッシュ社労士事務所

特定社会保険労務士 新美智美 氏

・講演3 「警備業の実態と業務中の受傷事故の防止」

愛知県警察本部生活安全部生活安全総務課 警備業  
係長 小澤 忍 氏

(4) SDGs (持続可能な開発目標) 達成に向けた取組みの継続推進

ア 警備員の知識及び能力の向上

法定(新任・現任)教育、特別講習の充実及び特別講習合格率の向上のための事前講習、直前セミナーを実施した。

イ 警備員の処遇の向上

適正な処遇実現のために労務単価研究会の開催や労災事故の防止のための労働安全研修会を実施した。

ウ 総合的かつ効果的な災害支援活動

愛知県警察本部及び愛知県が開催した防災訓練等に積極的に参加するとともに、災害支援協力隊の効果的な運用を図るため、同協力隊の編成を見直し、併せて編成に伴う装備品、保存食、保存水などの計画的配備を行った。

エ 安心して暮らせる安全な社会の実現

愛知県警察本部と連携して多発する特殊詐欺被害防止、侵入盗防止のための啓発活動を実施した。また、特殊詐欺被害防止啓発用機器の寄贈や特殊詐欺捜査協力報奨金制度への継続参画、無事故・無違反チャレンジファイナル100日ラリーの実施等安心安全な社会実現のための取組みを強化した。

オ 地球環境にやさしい活動

再生紙の使用及びペーパーレス化の推進、ペットボトルの削減などにより環境にやさしい活動を更に推進した。

(5) 労災事故等防止活動の充実

労働安全研修会の開催、交通誘導業務中における労災事故の防止を目的に各支部において実施した安全パトロールへの同行、事故発生に伴う協会ホームページを通じての労災事故防止啓発を実施した。

また、交通事故防止・交通安全意識の高揚を目的に令和4年9月23日(金)から同年12月31日(土)までの100日間、「無事故・無違反チャレンジファイナル100日ラリー」を開催し、37チームが参加し34チームが無事故・無違反を達成し、参加企業をはじめ、会員の皆様の交通安全意識の醸成に努めた。

なお、達成チーム(企業)に対して会長表彰を行った。

全国警備業協会主唱の労働災害防止「論文・ポスター・標語」の公募等に参加し、当協会には論文5点、ポスター7点、標語774点の応募があり、当協会会長から優秀作品9作品9名に対して令和5年新年交

礼会の会場において表彰状を授与した。

また、優秀作品を全警協に送付し審査の結果、論文の部全国1位、標語の部全国2位の結果を得て、全国警備業協会会長表彰が授与された。

(6) 調査への協力

(一社)全国警備業協会、関係行政庁等が行う警備業務適正化のための「自主行動計画」に関する調査研究や警備業の実態調査等に積極的に協力した。

2 教育センターにおける各種教育、講習など教育事業の適正な推進

(1) 多様なニーズに応える教育事業の推進

会員企業からの要望が多かった法定(現任)教育の土曜日開催を実施するとともに全警協のeラーニングの普及に努めた。

また、警備業指導教育責任者の資質向上などを目的とした「警備業指導教育責任者レベルアップセミナー」の開催を企画、令和4年10月17日(月)、20名の参加者を得て、第1回セミナーを実施した。

(2) 法定教育の充実強化

法定警備員教育の実施状況は、

延べ6,290名(うち非会員 304名)(前年度対比-629名)

が受講し、その内訳は、

新任教育(業務別新任教育を含む) 延べ2,541名(同比-301名)

現任教育 延べ3,749名(同比-328名)

であった。

区分	会員	非会員	計	対前年比
新任警備員教育	2,422名	119名	2,541名	-301名
	2,694名	148名	2,842名	-322名
現任警備員教育	3,564名	185名	3,749名	-328名
	(79名)	(0名)	(79名)	(-112名)
(内出張教育)	3,908名	169名	3,983名	+94名
	(191名)	(0名)	(191名)	(+25名)
計	5,986名	304名	6,290名	-629名
	6,602名	317名	6,919名	-228名

※ 下段は前年度、新任警備員教育は延べ人員である

・ 職業訓練校としての新任警備員教育

平成3年4月に職業訓練校として認定を受けて以来訓練を実施しているが、令和4年度中に認定訓練校生として警備員教育を行った人員は、次のとおりであった。

新任警備員教育受講者 1,154名(前年度 1,335名)

(内訳)施設警備業務 556名(前年度 578名)

雑踏警備業務 598名(前年度 757名)

※ 2日間修了者を1名として計上

また、全警協が令和4年4月4日から提供を開始したeラーニングのID契約件数は年度末108件であった。

### (3) 特別講習の充実強化

(一社)警備員特別講習事業センターからの委託事業である特別講習の実施状況は、

- 施設警備業務～1級1回・2級5回、  
受講者380名(うち再受講27名)合格者282名(うち再受講17名)  
合格率74.2%
- 交通誘導警備業務2級～9回、  
受講者630名(うち再受講71名)合格者432名(うち再受講35名)  
合格率68.6%
- 雑踏警備業務2級～2回、  
受講者118名(うち再受講2名)合格者105名(うち再受講1名)  
合格率89.0%
- 貴重品運搬業務～1級1回・2級1回  
受講者66名(うち再受講0名)合格者58名、合格率87.9%

であった。

全受講者1,194名(うち再受講100名)中、合格者877名(うち再受講53名)、合格率は73.5%と全体では70%超であるが、交通誘導警備2級検定の合格率が70%前後で推移している。

なお、前年度はコロナ禍の影響もあり、実施回数15回(施設警備2級4回、交通誘導警備2級8回、雑踏警備1級1回・2級1回、貴重品運搬警備2級1回)、延べ受講者925名、延べ合格者694名(合格率75.0%)であったが、本年度は受講者数・合格者数ともに増加している。

種別	実施回数	受講者	合格者	合格率
施設警備業務1級	1	59名	36名	61.0%
雑踏警備業務1級	1	37名	26名	70.3%
貴重品運搬警備業務1級	1	21名	19名	90.5%
施設警備業務2級	5	321名	246名	76.6%
	4	208名	176名	84.6%

交通誘導警備業務 2 級	9	630名	432名	68.6%
	8	547名	375名	68.6%
雑踏警備業務 2 級	2	118名	105名	89.0%
	1	63名	54名	85.7%
貴重品運搬警備業務 2 級	1	45名	39名	86.7%
	1	70名	63名	90.0%
合 計	1 9	1,194名	877名	73.5%
	1 5	925名	694名	75.0%

※ 下段は前年度

(4) 警備員指導教育責任者等の講習会及び研修会の開催

愛知県警察本部からの委託講習である警備員指導教育責任者講習等の実施状況は、

- ・ 新規
  - 1号業務 5回 受講者161名 合格者76名 (合格率47.2%)
  - 2号業務 3回 受講者 95名 合格者31名 (合格率32.6%)
  - 3号業務 1回 受講者 18名 合格者11名 (合格率61.1%)
  - 4号業務 1回 受講者 4名 合格者4名 (合格率100%)
- ・ 追加
  - 1号業務 1回 受講者10名 合格者 8名 (合格率80%)
  - 2号業務 1回 受講者17名 合格者10名 (合格率58.8%)
  - 3号業務 1回 受講者 3名 合格者 2名 (合格率66.7%)
  - 4号業務 1回 受講者 5名 合格者 5名 (合格率100%)
- ・ 機械警備業務管理者 1回 受講者21名 合格者14名 (合格率66.7%)

であった。

合格率は、4号業務を除き、全般に低調であり、特に交通誘導警備業務(2号)の低調が顕著であった。

また、警備員指導教育責任者現任講習は、

- 1号業務 7回 受講者 217名
- 2号業務 8回 受講者 236名

であった。

種 別	回数	受講者	受験者	合格者	合格率
新規取得講習	10	278名	278名	122名	43.9%
	10	255名	251名	132名	52.6%
追加講習	4	35名	35名	25名	71.4%
	4	46名	46名	37名	80.4%

現任講習	15	453名			
	18	454名			
機械警備業務管理者講習	1	21名	21名	14名	66.7%
	1	24名	24名	14名	58.3%
合計	30	787名	334名	161名	48.2%
	33	779名	321名	183名	57.0%

※ 下段は前年度、受験者等については現任講習を除く

・ 警備員指導教育責任者研修会の開催

開催日 令和4年9月21日（水）

開催場所 名古屋市芸術創造センター大ホール

参加者 233名

内容

- ・ 講演1 「警備契約の実務」  
総合警備保障(株)豊橋支社 営業部長 坂本晃浩 氏
- ・ 講演2 「不当要求対策」  
(公財)暴力追放愛知県民会議 講演部長 井上信一 氏
- ・ 講演3 「適正警備業務」  
愛知県警察本部生活安全部生活安全総務課警備業係  
係長 村松広之 氏

(5) 機械警備業務管理者研修会の開催

開始日 令和4年11月24日（木）

開催場所 当協会研修室

参加者 機械警備業務管理者及び同資格者23社27名

内容

- ・ あいさつ 村木教育委員長
- ・ 講演1 「基地局からの指令要領」  
セコム(株)中部本部 コントロールセンター 間瀬幸喜 氏

- ・ 講演2 「迅速的確な指令業務」及び「誤報の防止」  
愛知県警察本部地域部通信指令課 係長 黒川恵介 氏

- ・ 講演3 「適正な機会警備業務の実施」  
愛知県警察本部生活安全部生活安全総務課警備業係  
係長 小澤 忍 氏

(6) 警備業に関する各種講習会への講師派遣

ア 講師体制の確立



当協会講師体制（令和4年4月1日現在）

- ・ 警備員指導教育責任者講習講師 47名
  - ・ 機械警備業務管理者講習講師 12名
  - ・ 特別講習講師 53名
- イ 各種講習会への講師派遣
- ・ 警備員指導教育責任者等講習  
新規取得、追加、現任及び機械警備業務管理者  
計30回 派遣講師 218名
  - ・ 特別講習  
計19回 派遣講師 206名
  - ・ 公安委員会直接検定  
今年度派遣なし
  - ・ 県外派遣（応援）  
15回 派遣講師 5名

（7）講師の資質向上と若手講師の育成

中部地区特別講習講師合同研修会の開催

開催日 令和4年12月8日（木）、9日（金）

開催場所 当協会研修室等

参加者 中部6県特別講習講師 44名

内 容

○12月8日

- ・ あいさつ

中部地区警備業協会連合会会長 小塚喜城

（一社）全国警備業協会研修センター長 前島秀規 氏

- ・ 講演1 「特別講習の現状と今後の展望」

（一社）警備員特別講習事業センター 課長 山崎克

憲 氏

- ・ 講演2 「警察から見た警備業の現状」

愛知県警察本部生活安全部生活安全総務課警備業係  
課長補佐 後藤守孝 氏

- ・ 講演3 「特別講習講師の在り方と警備員の資質向上に向けた講習の進め方」

（一社）全国警備業協会 常任講師 赤木一政 氏

○12月9日

- ・ 講演4 「組織活性化に必要なリーダーのスキル」

（一社）全国警備業協会研修センター 次長 山本正

彦 氏

- ・ 検討会

- ・ 視 察 愛知県警察本部地域部通信指令室等

この研修会により、特別講習講師の資質向上、若手育成に貢献した  
(8) 就職氷河期世代の方向け短期資格等習得事業の実施

交通誘導警備業務2級の習得コースを令和4年4月21日から同年5月20日の間に受講生を募集し、12名の応募があり、同年6月から7月にかけて8日間の講習を経て、11名が合格、同年7月21日・22日に職場見学、同年7月26日に就職説明会を実施し終了した。

(9) 第81回セキュリティ・プランナー講習

令和4年10月30日から3日間、全警協が開催するみだしの講習について開催地事務局として業務に当たった。

### 3 会議の開催

(1) 定時総会

開催日 令和4年6月23日(木)  
場 所 名古屋市中区栄四丁目6番8号  
名古屋東急ホテル「雅の間」  
出 席 392社(内、書面決議219社、委任状63社)  
通常形式により開催

(2) 理事会

第1回 令和4年5月13日(金)～愛知県警備業協会研修室  
第2回 同 年9月9日(金)～愛知県警備業協会研修室  
第3回 同 年12月16日(金)～グランコート名古屋  
第4回 同 年3月17日(金)～愛知県警備業協会研修室

### 4 広報啓発活動の積極的推進

(1) 人手不足解消、業界の知名度のアップに資する広報啓発

ハローワーク主催の警備業セミナーに参画し、令和4年4月20日(水)、同年11月21日(月)の2回、ハローワーク名古屋中で、令和4年12月13日(火)、ハローワーク一宮でそれぞれ警備の仕事に関する講演、交通誘導警備業務における旗振り体験や施設警備業務等における金属探知機による検査体験を通じて、参加者に対して警備業務の魅力とやり甲斐を紹介した。

今後も公共職業安定所(ハローワーク)等と連携を密にし、継続的に実施する予定である。

(2) 協会、業界への理解を深める広報啓発

ア 広報媒体を活用した広報啓発活動

新聞・テレビや業界紙である「警備保障タイムズ」を活用した広報のほか、協会ホームページのタイムリーな更新による広報に努めた。

また、11月1日「警備の日」の広報啓発では、令和4年10月7日、

愛知県警察と連携し、特殊詐欺被害防止啓発と併せて名古屋市中区のATMコーナー周辺において利用者等を対象に「警備の日」広報活動を実施した。

また、岐阜・三重・愛知の3県警備業協会合同により、「11月1日、警備の日」を中日スポーツ広告欄に掲載し、スポーツ紙購読者に対して広く「警備の日」を周知した。

#### イ 機関誌・広報紙の発行

令和4年8月8日発行の「セキュリティアイチ58号」から全紙面カラー化を図り、令和5年1月24日に「セキュリティアイチ59号」を発行、会員の皆様に社会情勢に対応した有益な情報をタイムリーに発信した。

また、9年ぶりに協会リーフレット「あいちの安心と安全を守る警備業」を刷新した。

### 5 警備業に関する功労者等の表彰（主なもの）

#### （1）一般社団法人全国警備業協会定時総会（令和5年6月8日）

##### ア 警察庁長官・（一社）全国警備業協会会長連名表彰

水野 彰則 （一社）愛知県警備業協会

##### イ （一社）全国警備業協会会長表彰

田中 宏 （株）建光社 代表取締役社長

#### （2）警備業全国労働安全衛生大会（令和4年7月6日）

##### （一社）全国警備業協会会長表彰

##### ア 論文の部1位

伊藤幸芳 （株）アイシン・コラボ

##### イ 標語の部2位

長谷川幹洋 総合警備保障(株)

#### （3）一般社団法人全国警備業協会創立50周年記念式典（令和4年11月7日）

##### ア 永年表彰

松本定道 中京総合警備保障(株) 会長

鈴木壽夫 ジャパンガード(株) 代表取締役社長

##### イ 人命救助等

上原経寛 （株）大日警

#### （4）令和4年度全国事務担当者会議（令和5年2月27日）

##### 永年表彰

遠山恵子（勤続30年以上）

村山智子、水野彰則、大河内美名、糸井川直美（勤続20年以上）

#### （5）愛知県警察本部長・（一社）愛知県警備業協会会長連名表彰

##### 団体の部

ALSOK愛知(株)  
日本実業警備保障(株)  
半田日本連合警備(株)

個人の部

山田 善弘 (株)ISP宝綜合警備 代表取締役社長  
村上 代将 (有)警備センター東亜 代表取締役社長  
須藤 修 大成(株) 執行役員

教育功勞の部

小笠原 哲也 セクダム(株)  
川本 郁康 (株)アサヒセキュリティ中部本部  
小田原 伸也 いずみサポート(株)名古屋支社

(6) (一社) 愛知県警備業協会会長表彰

優良警備員の部

志水 義明 愛知警備保障(株) 以下92名

退任役員等特別功勞者の部

水野 都飽 (一社) 愛知県警備業協会前理事  
梅野 賢人 (一社) 愛知県警備業協会前事務局長

(7) その他功勞による協会長表彰

特殊詐欺防止に貢献し、警備業に対する社会的評価を高め、他の警備員の模範となった1社6名の警備員にその都度表彰した。

労働災害防止活動の一環として募集した論文、ポスター、標語786点の中から審査の結果、優秀作品9点(論文、ポスター、標語各3点)について表彰した。

6 警備業に関する相談及び苦情の処理

令和4年度中、各種届出の要領などの相談の他、警備員の交通誘導の方法に関する一般人からの苦情など7件を受理し、適正に処理した。

7 警備技術等に関する調査研究及び教育関係図書等の紹介・斡旋

警備装備品等を取り扱う賛助会員の警備用品展示会を会議などの機会を捉えて積極的に開催し警備業務の装備資機材の周知を図ったほか、各種教育、講習に係る教育関係図書を積極的に斡旋し、警備員の資質向上と業界のレベルアップを図った。

8 地域安全、交通安全、災害対策等の社会貢献活動の推進

(1) 愛知県警察に対する特殊詐欺被害防止機器等の寄贈

高齢者等を対象とした特殊詐欺被害が後を絶たず、依然として深刻な状況にあることから、社会貢献活動の一環として被害防止対策を目的に令和4年10月17日(月)、愛知県警察本部生活安全部に対して、電話回線疑似交換機7台、自動通話録音警告機「録音チュー」200台、

バナーボード1台を寄贈した。

(2) 特殊詐欺捜査協力報奨金制度

令和3年7月1日より運用を開始した当協会以下4団体で構成する「愛知県特殊詐欺撲滅プロジェクトチーム」による「特殊詐欺捜査協力報奨金制度」では、本年度中21件の制度適用（だまされたふり作戦により犯人が検挙された際の協力者への報奨金贈呈）がされている。

(3) 交通事故防止などへの啓発活動

協会では、会員各社の警備員、従業員の交通安全に寄与するため、令和4年9月23日（金）から同年12月31日（土）までの100日間を「無事故・無違反チャレンジ・ファイナル100日ラリー」と銘打ち交通事故防止などへの意識付けを図った。

会員企業37チームが参加し、34チームが無事故・無違反を達成、「令和5年新年交礼会」の席上で会長表彰を授与するなど、交通事故防止、交通法令の遵守などの醸成を図った。

(4) 暴力排除活動

令和4年6月29日（水）開催の「暴力追放推進委員研修会」及び同年7月5日（火）開催の「暴力追放セミナー」へ参加した他、同年9月9日（金）、令和4年度第2回理事会と併せて愛知県警備業協会暴力団等反社会的勢力排除対策協議会役員総会を開催した。

また、令和4年10月20日（木）、日本特殊陶業市民会館で開催された「安全なまちづくり愛知県民大会」において同協議会に対して（公財）愛知県暴力追放運動推進センター名誉会長から感謝状が授与された。

（公財）愛知県暴力追放運動推進センターからのGネット「暴追あいち」を会員専用ホームページに掲載し、暴力追放を会員に徹底した。

(5) 中部防災推進ネットワークへの参画

令和3年5月に参画した「中部防災推進ネットワーク」については本年度17回勉強会が開催され、中部における防災に関する各種問題点などについて関係団体と情報共有し、当協会における災害支援活動に反映した。

(6) 令和4年度愛知県・豊川市総合防災訓練

令和4年9月4日（日）、愛知県豊川市内・豊川自衛隊駐屯地等において開催予定であった南海トラフ巨大地震を想定した「令和4年度愛知県・豊川市総合防災訓練」にあつては、悪天候の影響により延期となり、同年12月17日（土）に実施となり、三河支部災害支援協力隊と専務理事以下事務局職員が参加した。

(7) 愛知県警察本部交通部主催「災害時における交通規制（緊急交通路確保）訓練」への参加

令和4年9月1日（水）、南海トラフ巨大地震発生を想定した、緊

急交通路指定路線での交通規制訓練が、西春日井郡豊山町内県道名古屋空港線中央線において実施され、馬場北東支部長、藤田西支部長のほか北東支部、西支部の災害支援協力隊員8名が参加した。

(8) トルコ大地震被災者への支援募金の支出

令和5年2月6日、トルコ南部を中心として大地震が発生し、震源地となったトルコ南部、シリアなど4万人以上の甚大な被害が出るなどの状況から、当協会として社会公共の安全に寄与すること、また、SDGsの取組の一環として、令和5年2月24日(金)、小塚会長が在名古屋トルコ共和国総領事館に赴き、総領事に支援金10万円を手渡した。

9 本会の目的を達成するために必要なその他の事業

(1) 個人情報の適正な取扱い

認定個人情報保護団体として認定された全警協と連携し、個人情報の適正な取扱いを図った。

(2) 協会への加入促進と認定更新案内の実施

協会未加入の警備業者に対し、協会加入のメリットを積極的に発信して入会を勧誘し、退会12社であるものの、入会17社と5社増となった。

また、認定更新案内138件を発出し、会員に対して認定更新手続きが期間内にスムーズに行われるよう対策を講じた。

(3) 愛知県証紙、諸用紙及び教育関係図書の斡旋・販売

各種申請・届出に必要な証紙、警備業務に係る教育関係図書を希望者に対して積極的に斡旋・販売するとともに、届出に必要な各種様式についてはホームページの会員ページに掲載し届出に誤りのないよう周知した。

(4) 中部地区各県警備業協会との連携

中部地区警備業協会連合会事務局担当県として、各県協会及び全国警備業協会との連絡調整に努めた。

・ 春の会長等会議

開催日 令和4年5月30日(月)

開催場所 愛知県(東京第一ホテル錦)

出席者 (一社)全国警備業協会会長 中山泰男

同専務理事 黒木慶英 他1名

中部6県協会長、専務理事 計17名

主な議題 「災害関連協定の概要と運用上の課題」等

※ 全警協が示したモデル協定案を軸に各県協会が県・県警と協定の再締結に向けて行動するなかで出てきた問題点などについて議論がなされた。

・ 秋の会長等会議

開催日 令和4年11月28日（月）

開催場所 富山県（富山国際会議場）

参加者 来賓 高倉秀之富山県警察本部生活安全部長

（一社）全国警備業協会会長 中山泰男

同専務理事 黒木慶英

中部6県協会会長、専務理事

富山県警備業協会青年部会長 等 計21名

主な議題 「中部地区警備業協会連合会青年部会の結成及び各県の青年部会の現状」

※ 県協会の青年部会の活動状況、同部会が未結成の協会の今後の方針などの議論がなされた。

また、開催地富山県協会からは、青年部会長も出席され、青年部会の活動などについて説明がなされた。

(5) 警備業者賠償責任保険団体制度の周知

三井住友海上火災保険(株)が制度幹事保険会社となり全警協が6月から運用を開始した同保険団体制度について、各種会議・研修、支部研修会、機関紙等を通じ、積極的に周知に努めた。

(6) 被害者支援活動

「(公財)被害者サポートセンターあいち」へ賛助会員として入会し、「ホンデリング」への参画及び募金箱の設置などにより、犯罪等の被害者支援活動に積極的に取り組むこととした。

協会受付窓口に「ホンデリング」の回収ボックス、募金箱を設置し本年度中、会員の皆様、協会職員からの寄贈本約100冊を所定の手続きにより送付した。

(7) 県行政への参画

愛知県の県政150周年記念行事の協力団体として登録し、県政150周年行事の広報活動に参画し、県行政の事業に貢献した。

(8) B C Pの策定

災害、新型コロナウイルス感染などにより、事業に支障を来す事案が発生した場合に、支障を最小限に抑え、協会における必要な事業を継続的に行っていくため、令和4年4月、「事業継続計画（B C P）」を策定した。

(9) 警備員制服・装備品等展示会の開催

令和4年9月21日、名古屋市芸術創造センターにおいて開催した

「警備員指導教育責任者研修会」において、当協会賛助会員等警備用品取扱業者を招き、制服等装備品の展示会を開催した。

(10) 「消費税の適格請求書等保存方式（インボイス制度）」の施行開始に向けた会員への周知

令和5年10月1日から「消費税の適格請求書等保存方式（インボイス制度）」が開始されることに伴い、会員の皆様に正しく理解していただくため、セキュリティアイチ59号（令和5年1月発行）に特集を掲載した。

また、本年1月18日（水）、安城市民会館で三河地区説明会、翌19日（木）、南文化小劇場で名古屋・尾張地区説明会を開催し、講師として名古屋国税局課税第二部 消費税課 実務指導専門官 田中義人氏をお招きし、「インボイス制度の概要」、「改正電子帳簿保存法の概要」などの講義をいただき、それぞれ会員企業の経理担当者等に対して有用な情報を効果的に提供した。

#### (11) 事務の合理化、効率化と体制の強化

業務の増大に対応し、会員サービスの向上を図るため、事務分掌の見直しを図るとともに、デジタル化を進めるため、FAXの廃止、講習の申込をはじめ、修了証明書の発行、入金などシステムを検討し早期対応を図った。

#### (12) 慶弔・傷病に対する表意

会員等の慶弔・傷病事案について、基準などに従い慶弔の表意及び見舞いを行った。

#### (13) 各種親睦行事の実施

会員相互等の親睦を図るため、令和5年1月16日（月）、「新年交礼会」を名古屋観光ホテルにおいて、愛知労働局労働基準部安全課長、愛知県警察本部生活安全部長、愛知県中警察署長など来賓のご臨席を得て会員174名が参加し、盛大に開催した。

また、ゴルフ部会も定期的を開催し、親睦を図った。